平成年12月13日
原子力基礎工学研究・評価委員会
参考 11

プレス発表及び取材一覧
（平成20年4月～平成22年3月）

プレス発表

No.	発表日	タイトル	発表者	掲載誌
原子力基礎工学研究				
（2） 炉工学研究				
1	平成20年11月10日	日産自動車と原子力機構、世界で初めてエンジン内部の潤滑オイル挙動の高速度可視化技術共同開発を開始 －CO_2排出量削減に向け、低燃費エンジン開発を加速－	核工学・炉工学ユニット 原子力センシング研究グループ 共同発表：日産自動車株式会社	時事通信 電気新聞 原子力産業新聞 常陽新聞
（3） 材料工学研究				
1	平成20年12月11日	世界初 次世代原子力システム用“超高純度ステンレス合金”を開発	原子力エネルギー基盤連携センター 次世代再処理材料開発特別グループ 共同発表：株式会社神戸製鋼	電気新聞 原子力産業新聞 科学新聞 東京新聞
2	平成21年10月	核燃料再処理用超高純度ステンレス合金の実用化研究	原子力エネルギー基盤連携センター 次世代再処理材料開発特別グループ 共同発表：株式会社神戸製鋼、三菱重工業、日本原燃株式会社	日経産業新聞
（5） 環境工学研究				
1	平成20年10月21日	放射性炭素を利用して、温暖化が土壌の炭素貯留能力に及ぼす影響を予測 －より高精度の地球温暖化予測手法の確立に期待－	環境・放射線工学ユニット 環境動態研究グループ 共同発表：独立行政法人森林総合研究所	東奥日報 日経産業新聞 毎日新聞 朝日新聞
2	平成21年2月5日	世界の原子力事故に対応可能な迅速大気拡散予測システムWSPEEDI-IIを開発 －世界的な原子力発電所の増加に備える－	環境・放射線工学ユニット 環境動態研究グループ	日刊工業新聞 電気新聞 科学新聞
（8） シミュレーション工学研究（システム計算科学センター）				
1	平成20年11月21日	原子力機構システム計算科学センターが国際会議SC07・SC08大規模解析技術コンクールにおいて二年連続で優秀賞を受賞	高度計算機技術開発室	未確認

No.	発表日	タイトル	発表者	掲載誌
2	平成20年11月27日	耐震安全性の計算機シミュレーション技術のワークショップを開催（お知らせ）－耐震安全性に向けて計算科学の活用を－	高度計算機技術開発室	未確認
3	平成21年1月14日	鉄系高温超伝導体に関する国際研究集会の開催について（お知らせ）	シミュレーション技術開発室	未確認
分離・変換技術の研究開発				
1	平成20年10月6日	「第10回OECD/NEAアクチノイドと核分裂生成物の分離変換技術情報交換会議」を日本で開催 －分離変換技術の科学的基盤から開発戦略まで幅広い分野について討議－	燃料・材料工学ユニット　湿式分離プロセス化学研究グループ	
2	平成22年3月19日	40Ar（アルゴン-40）の超変形状態観測に世界で初めて成功 -中性子過剰な原子核での異常変形状態の発生メカニズム解明に迫る-	核工学・炉工学ユニット　核変換用核データ測定研究グループ 共同発表：東京大学・九州大学・千葉工業大学	

No.	発表日	タイトル	発表者	掲載誌

取　材

No.	発表日	タイトル	発表者	掲載誌
原子力基礎工学研究				
（3） 材料工学研究				
1	平成21年9月9日	高経年化炉の応力腐食割れ　－安全確保へ課題指摘－	燃料・材料工学ユニット　腐食損傷機構研究グループ　塚田　隆	電気新聞
（8） シミュレーション工学研究（システム計算科学センター）				
1	平成20年9月4日	高知工科大で原子力学会開幕 （記事中で機構の講演内容「耐震設計とスーパーコンピューティング技術」が取り上げられた）	高度計算機技術開発室　中島　憲宏	読売新聞
2	平成21年5月26日	原子力機構　研究資源を統合活用　国際連携で基盤整備	高度計算機技術開発室	電気新聞
分離・変換技術の研究開発				
1	平成21年1月27日	分離変換で放射能レベル低減化期間を短縮　－評価の進む夢の技術－	核工学・炉工学ユニット　核変換工学技術開発グループ　大井川博之	電気新聞

プレス発表及び取材一覧
（平成22年4月～平成24年9月）

プレス発表

No.	発表日	タイトル	発表者	掲載誌
（1） 核工学・炉工学研究				
1	平成22年4月15日	原子力研究開発に不可欠な核データライブラリの最新版JENDL-4.0が完成 －軽水炉高度利用や高速増殖炉開発のための計算信頼性の大幅向上に期待－	核工学・炉工学ユニット 核データ評価研究グループ	
2	平成22年5月12日	世界最高性能の中性子核反応測定装置が本格稼働 －キュリウム同位体などのマイナーアクチニドやテクネチウム同位体などの長寿命核分裂生成核種の中性子捕獲断面積測定に道－	核工学・炉工学ユニット 応用核物理研究グループ 共同発表：北海道大学・東京工業大学・京都大学	日経ニュース 電子版
3	平成22年9月6日	石油製品中の硫黄濃度を簡便に測定できるエネルギー分散型蛍光X線分析装置の高精度化に成功	核工学・炉工学ユニット 原子力センシング研究グループ 共同発表：田中科学機器製作株式会社	日刊工業新聞 科学新聞 原子力産業新聞 サイエンスガイド（市販 装置カタログ）
4	平成23年8月18日	加速器中性子で生成した医学診断用テクネチウム99mの分離精製と標識化に世界で初め	原子力エネルギー基盤連携センター 加速器中性子利用RI生成技術開発特別グループ	科学新聞 電気新聞
（4） 環境科学研究				
1	平成23年6月13日	東京電力福島第一原子力発電所事故によるプラント北西地域の線量上昇プロセスを解析	環境・放射線科学ユニット 環境動態研究グループ	Sankei Biz(Web) 読売新聞 毎日新聞 東京新聞 福島民報 日本経済新聞 フジテレビスーパーニュース TBSあさズバッ！、Nスタ TV朝日モーニングバード、等
（6） 計算科学技術研究				
1	平成23年1月31日	「国立大学法人東京大学と独立行政法人日本原子力研究開発機構との計算科学研究協力に関する覚書」の締結について	システム計算科学センター	日刊工業新聞

その他				
1	平成23年10月31日	環境修復に向けた除染作業を支援するソフトウエア（除染効果評価システムCDE）を開発－除染効果の可視化ソフトを無償で公開－	核工学・炉工学ユニット　炉物理研究グループ 核工学・炉工学ユニット　原子力標準ソフトウェア開発グループ 環境・放射線科学ユニット 放射線防護研究グループ	NHK全国放送 NHK地方放送（福島） 福島中央テレビ 毎日新聞

取 材、 等				
No.	発表日	タイトル	発表者	掲載誌、等
（3） アクチノイド・放射化学研究				
1	平成22年4月5日	【CLEAR取材】4月12日、13日にアメリカで開催される核セキュリティーサミットの開催にあわせ、世界の核不拡散に向け、日本がはたすべき役割や技術貢献の状況をリポートで紹介する。	燃料・材料工学ユニット　放射化学研究グループ	NHKニュースウォッチ９　4月14日放送
2	平成22年11月9日	【CLEAR取材】核物質の検知・鑑識技術の開発の現状	燃料・材料工学ユニット　放射化学研究グループ、核不拡散センター	NHK国際放送にて放送
3	平成23年4月21日	有機溶媒を高効率抽出−放射性廃液浄化に道−（エマルションフロー）	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親	日刊工業新聞
4	平成23年5月28日	総合科学技術会議・戦略推進事業（飯舘村プロジェクト）：　ポリイオン法の紹介	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親	NHKニュース
5	平成23年7月9日	伊達市除染プロジェクト：　富成小学校のプール除染（ゼオライト/PACでの水浄化）	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親、他	NHKニュース
6	平成23年7月11日	伊達市除染プロジェクト：　富成小学校のプール除染（ゼオライト/PACでの水浄化）	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親、他	朝日新聞
7	平成23年7月14日	伊達市除染プロジェクト：　富成小学校のプール除染（ゼオライト/PACでの水浄化）	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親、他	共同通信、信濃毎日新聞
8	平成23年7月17日	伊達市除染プロジェクト：　富成小学校のプール除染（ゼオライト/PACでの水浄化）	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親、他	中日新聞
9	平成23年7月17日	伊達市除染プロジェクト：　伊達市小国での土壌除染活動（ポリイオン法）	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親、他	福島民報、 伊達市ケーブルテレビ、等
10	平成23年7月20日	伊達市除染プロジェクト：　富成小学校のプール除染、プール開き（ゼオライト/PACでの水浄化）	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親、他	福島民友、福島民報、等
11	平成23年8月4日	伊達市除染プロジェクト：　伊達市小国での土壌除染活動（ポリイオン法）	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親、他	NHK第２国際放送
12	平成23年11月28日	レアアース抽出コスト3分の1：抽出剤ジグリコールアミド酸	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親	日刊工業新聞
13	平成23年12月13日	希土類抽出剤ジグリコールアミド酸とエマルションフロー	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親	日刊工業新聞
14	平成24年1月14日	【CLEAR視察】細野豪志内閣府特命担当大臣、原子力科学研究所及び核不拡散・核セキュリティ総合支援センターを視察	燃料・材料工学ユニット　放射化学研究グループ、核不拡散・核セキュリティ総合支援センター	各放送局にて放送

15	平成24年1月20日	除染技術研究成果続々-物材機構で報告会-（ポリイオン処理：原子力機構）	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親、他	日刊工業新聞
16	平成24年1月25日	原子力機構、食品の増粘剤で放射性セシウムを除去－再汚染防止にも	環境・放射線科学ユニット　環境化学研究グループ　長縄 弘親	日刊工業新聞
17	平成24年5月13日	汚染水処理のゼオライト廃棄物からの水素発生について	原子力化学ユニット　湿式分離プロセス化学研究グループ　山岸　功（原科研福島技術開発特別チーム）	NHKサイエンスZERO「シリーズ原発事故（7）冷温停止状態浮かび上がる課題」（5/13および再放送5/19）
18	平成24年6月12日	【研究4棟取材】福島第一原子力発電所で採取されたプール水・滞留水の分析（NHK番組制作者からの取材申し込みによる）	原子力化学ユニット　放射化学研究グループ	NHKスペシャル「メルトダウン　連鎖の真相」（7/21放映）
（4） 環境科学研究				
1	平成23年8月14日	福島第一原発から大気中に放出された放射性物質の拡散解析・線量評価について	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　永井　晴康	フジテレビ
2	平成23年9月8日	放射性物質の拡散評価（海洋拡散解析結果）	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　小林　卓也	朝日新聞、読売新聞等、12誌
3	平成23年11月11日	（東京新聞取材）　文科省航空機モニタリング結果発表に係る放射性物質の広域大気拡散過程について	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　永井　晴康	掲載未確認
4	平成23年11月16日	（福島中央TV取材）　海洋拡散解析結果発表について	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　小林　卓也	福島中央TV：後日提供した動画と合わせて放映
5	平成23年11月25日	（朝日新聞取材）　海洋放出量推定結果について	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　小林　卓也	掲載未確認
6	平成24年3月21日	（共同通信取材）　日本海洋学会シンポジウム発表「海洋堆積物中への人工放射性物質の輸送・蓄積過程と分布」について	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　乙坂　重嘉	掲載未確認
7	平成24年3月21日	（朝日新聞取材）　日本原子力学会春の年会における福島第一原発事故に係る海洋拡散解析の発表について	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　小林　卓也	朝日新聞4月2日夕刊
8	平成24年4月5日	（フジテレビ」取材）　日本原子力学会春の年会における福島第一原発事故に係る海洋拡散解析の発表について	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　小林　卓也	提供画像の放映なし
9	平成24年4月11日	（読売新聞取材）　海洋における放射性セシウムの移行について	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　乙坂　重嘉	掲載未確認
10	平成24年4月19日	（読売新聞取材）　公開ワークショップ「福島第一原子力発電所事故による環境放出と拡散プロセスの再構築」での発表における大気拡散過程について	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　永井　晴康	掲載未確認
11	平成24年5月14日	公開ワークショップ「福島第一原子力発電所事故による環境放出と拡散プロセスの再構築」での海洋における放射性セシウムの放出量推定	環境・放射線科学ユニット　環境動態研究グループ　小林　卓也	産経新聞WEB版

12	平成24年5月23日	（福島中央TV） Cs-137海洋拡散解析結果の動画を提供	環境・放射線科学ユニット 環境動態研究グループ 小林 卓也	福島中央TV放映
13	平成24年7月14日	WSPEEDIによる3月14日夜から15日にかけての大気拡散解析結果について	茅野部門長、環境・放射線科学ユニット 環境動態研究グループ 永井晴康	NHKニュースウオッチ9「原発事故で放射性物質流出に新経路判明か」（7月14日放送）
14	平成24年9月12日	（NHK取材） 海洋における放射性物質の移行シミュレーションについて	環境・放射線科学ユニット 環境動態研究グループ 小林 卓也	放映未確認
15	平成24年9月15日	海洋拡散シミュレーションについて	環境・放射線科学ユニット 環境動態研究グループ 小林 卓也	日本テレビ：リアル×ワールド「554日～TVディレクターが見つめた東日本大震災～」（9月15日放送）
（6） 計算科学技術研究				
1	平成22年8月31日	（東京地区記者勉強会）原子力分野における計算科学研究の潮流	高度計算機技術開発室 武宮 博 他	電気新聞9月3日1面
2	平成23年2月4日	公開ワークショップ「原子力耐震計算科学の現状と将来」	高度計算機技術開発室 西田 明美 他	日本経済新聞2月9日夕刊1面
3	平成24年9月13日	（神戸新聞取材） 原子力施設等の大型プラントの次世代耐震シミュレーションに関する研究開発について	高度計算機技術開発室 山田 知典 他	神戸新聞10月4日1面
（7） 分離変換技術の研究開発				
1	平成23年4月7日	汚染水浄化、仙台産ゼオライトが有望・・・学会有志	原子力機構・東京大学特任教授 吉田善行 （燃料・材料工学ユニット 湿式分離プロセス化学研究グループ）	YOMIURI ONLINE
2	平成23年4月8日	汚染水浄化に「ゼオライト」原子力学会発表 セシウム吸着	原子力機構・東京大学特任教授 吉田善行 （燃料・材料工学ユニット 湿式分離プロセス化学研究グループ）	読売新聞